

保健師便り

2025.11 Vol.88

この判定、どうしたらよい？～判定C1・A・Fの解説～



今回も健診結果を受け取ったその後の行動についてご案内します。当協会では次の8つの判定ランクを設けています。

A:異常なし C1:経過観察 C2:次回健診 D1:6か月後再検査
D2:3か月後再検査 D3:再検査 E:要受診 F:主治医相談

〇わずかな変化が認められる『C1:経過観察』

基準範囲からの逸脱がわずか、または画像検査において軽度の変化がありますが、ともに**病的意義は低い**と考えられるものです。

<次の行動!!>

基本的に生活の支障になる変化ではありませんので、自覚症状等がなければ**これからも定期的に健診を受診し結果を確認しましょう。**

〇異常が認められない『A:異常なし』

検査値は基準範囲内、画像検査においては**正常範囲内**です。

<次の行動!!>

今回の健診で異常は認められませんでした。生活習慣を振り返る機会とし、これからも健康に留意してお過ごしください。身体の状態を確認するためにも**定期的に健診を受診しましょう。**

〇検査結果を主治医または治療医にご報告いただきたい『F:主治医相談』

事前にご記入いただく問診票等において、**項目に関連する病歴に「治療中」の申告をされた場合は、結果値や読影結果によらず「判定F」※**となります。すでに**医療の管理下にあるご病気**については、引き続き主治医のもとで治療を継続してください。

※例) 高尿酸血症(痛風)治療中 ⇒ 尿酸値は基準値内でも「判定F」

<次の行動!!>

異常の有無に関わらず、主治医を受診する際に結果報告書も合わせてお持ちいただき、服薬の効果や治療経過の観察にお役立てください。

健診は単年の結果だけでなく**経年変化**を確認することも重要です。判定のみにとらわれず、数値や所見の変化にも着目してみてください。

Q&A



ちょっと気になる症状があるけど、この間の健診では異常がなかったから大丈夫ですね？

結果は健診時点でのもので、健診以降の健康をお約束するものではありません。また、健診で得られる情報は限られています。自覚症状がある方は結果に関わらず、必ず医療機関を受診してください。



乳房にしこりがあります。健診では何の検査を予約したらよいですか？

健診(がん検診)は自覚症状のない方を対象にした検査です。この場合は、病院をご受診ください。健診は実施から結果返却までにある程度の時間を要するので、診断の遅れにつながる可能性があり、ご本人様にとって不利益となります。



LDLコレステロールが前回もE判定で病院に行ったけど、特に治療することもなく終わった。また行かなくちゃ行けないの？

血液検査や血圧測定での受診判定は基準値からの逸脱が大きく、その状態が持続すると血管が傷み始めます。血管障害は自覚症状がなく進行し、心筋梗塞や脳梗塞といった病気として現れる可能性が高くなります。受診判定については放置せず、医療機関への相談と同時に生活習慣を振り返って積極的な改善、継続的な血液データの追跡が必要です。



健診は年に一度、ご自身の健康を考える大切な機会です。これからもますます楽しく元気に過ごせるよう健診結果をご活用いただきたいと思います。

当協会のホームページでは、各検査項目の解説も掲載しています。あわせてご覧ください。 [一般健康診断の検査結果 | 一般財団法人 京浜保健衛生協会](#)



一般財団法人

京浜保健衛生協会

FOR HEALTHY LIFE

この記事は、神奈川県川崎市高津区にある健診機関「京浜保健衛生協会」が執筆・監修しています。人間ドック/巡回健診/女性のための健診/がん検診など、健診でお悩みの際はお気軽にご相談ください。



一般財団法人 京浜保健衛生協会